

集落元気づくり新聞（瀧春山・知之浦・阿多地）

予備調査による瀧春山集落の現状



集落の位置：宮崎県北西部の東臼杵郡椎葉村の中央部にあり、上椎葉ダムによる人造湖である日向椎葉湖に面する山地に位置する。村の中心集落である鶴富屋敷からは車で1時間の距離にある。

集落の特徴：瀧春山、松木、横野、上福良の4集落で尾八重地区を形成している。地区内の小学校が閉校し、瀧春山集落の若年世帯の一部は子どもの教育のために同じ地区内の横野集落に他出している。



集落内に集会所があるが、今では寄り合いもなく、集会所は利用されていない。

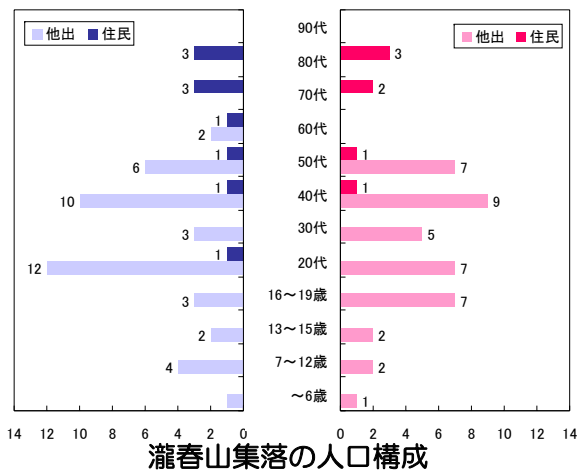


椎葉の里の労働歌として、鶴富姫と那須大八郎の悲恋の物語として古くから尾八重集落で歌い継がれている。昭和49年に村指定文化財に指定。

瀧春山地区の人口・世帯数

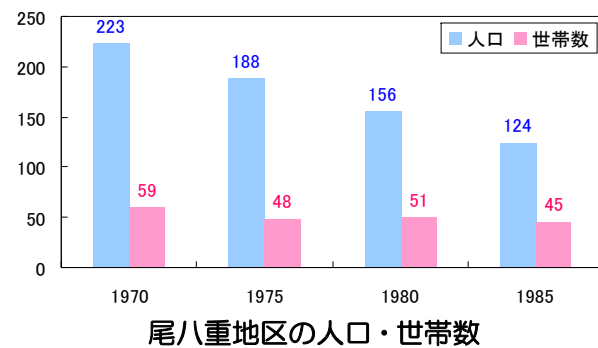
～後継者世代が他出、80歳代居住者が最も多い～

集落の人口構成、集落外に住まわれている集落血縁者（他出者）の状況を把握するために、アンケートにより人口と世帯数を調査し、その結果判明した内容を整理しました。



人口アンケートからみた瀧春山集落

- 尾八重地区の人口は、昭和45（1970）年には59世帯、人口223人でしたが、その後人口減少が続き、昭和60（1985）年には45世帯、人口124名となっています。
- 現在の瀧春山集落人口は16名で、他出者を含めると100名です。世帯数は7世帯、村内他出は3世帯です。



集落現況マップ(不安と資源)からみた瀧春山集落の現状



集落現況マップ
(赤:不安、青:資源、黄:思い出)

皆さんが多く感じた瀧春山集落の不安

- 一次医療しかなく不安
- 鳥獣被害が集落全体に及んでいる
- 高齢化の進行が心配

皆さんが誇る瀧春山集落の資源

- 今はやめている春祭り・秋祭り、ひえつき節（保存会あり）
- 20年前にスタートした無人販売所
- 春の桜、秋の紅葉、滝、鍾乳洞

皆さんの瀧春山集落の思い出

- 地区全体の春祭り、氏神様の祭り、山神様の祭り
- 昔は獣道を使って通学していた（片道2時間半）

ワークショップを通じて新たな瀧春山集落の魅力を発見

ワークショップに参加された皆さんの感想と、今後集落元気づくりとして取り組んでみたいことを紹介いたします。

代表的な感想

- 滝、春山、部落の昔の事が思い出されて懐かしく思い出された事が良かったと思う。(80代男性)
- 身近に感じている事柄についての事が多かった。足元の資源等が再確認できた。(60代男性)
- 現状と課題の分析をきっかけに、住民自らが日頃認識していない居住地について再考する機会になると思う。(40代男性)
- こういった寄り合いは、部落活性化のための勉強にもなり、人の意見も聞けてよかったと思う。(80代男性)
- 他出者が集落の事で心配している事を嬉しく思えた。少し元気が出てきた。(60代男性)
- 自らの集落の良さや課題を議論していく中で、高齢化は進んでいるが住民のパワーはまだあるように感じた。昔話をきっかけに、高齢者がいきいきとしているように感じた。(40代男性)



ワークショップでの和気あいあいとした話し合い

今後集落元気づくりとして取り組んでみたいこと

- 春・秋祭り
 - …飲み方、カラオケ等を通じて、集落の人的親睦を深め、活性化に繋げる。
- 尾八重区内にあった春祭りの復活
 - …住民の思い出については祭りが一番と感じた。住民の相互扶助や地域の活性化を図るためには、区全体での祭りの復活が重要、効果的ではと考える。
- 他出者との交流
 - …地区内のまとまりの向上のために、とにかく集まって話をする。

鹿児島大学 山田先生の講評！

山田誠先生は鹿児島大学で、先進諸国の経済政策および地方財政の実証分析を研究され、近年は地域振興策やNGO活動についても業績を積み重ねられており、農山漁村コミュニティにおいても多くの研究実績をお持ちです。今回のワークショップにも企画段階から実施まで参加していただきました。

ワークショップ終了後、山田先生より次のような講評をいただきました。

「私は奄美等の海辺の集落は詳しいのですが、中山間地域の集落はあまり詳しくなく、今日は街中と中山間地域にお住まいの方との距離感の違いや、散居状態でのお祭りの開催状況等が、本日は大変勉強になりました。

次回の12月に集まる時には、各地での色々な取り組みを紹介させていただきますので、どうやって元気な集落としていくかを、集落の実情にあった良い方法で実現していけるように、みなさんと共に知恵を出し合って考えて行きたいと思えます。」



ワークショップ終了後に講評される山田先生

次回開催のご案内

- 日時(予定)：平成21年12月7日(月)午後19時00分～午後21時00分
- 場所：瀧集会センターで開催予定

「テーマ：第2回集落の将来について考えてみよう」

～今後の集落の姿を考え、集落の問題・課題の抽出と今後の取組についての話し合い～

瀬戸内町知之浦集落 集落元気づくりだより

平成21年11月17日
第1号

集落元気づくりのための寄合いが開催される！

平成21年10月18日(日)に知之浦集会センターで、
第1回集落元気づくりのための寄合いを開催しました。



集落元気づくりのための寄合いの様子

集落元気づくりのための寄合いは、国土交通省九州地方整備局が「自立した元気な九州圏土づくり」を目指し、小規模・高齢化集落の活力維持と向上に向けた取り組みとして、鹿児島県大島郡瀬戸内町知之浦集落で2回開催していきます。

この寄合いは集落の人々の暮らし・生活をいかに維持していくかに焦点を当てながら、元気を呼び戻すために、集落の人たちの力で、一緒に考え、話し合いながら「集落元気づくりの取り組み」を見いだしていくことを目的とします。

10月18日(日)の第1回寄合いには、住民10名、他出者6名、近隣集落(三浦集落)から3名が参加し、「現状の問題を見てみよう」をテーマに、世帯毎の家族構成・後継者(他出された方を含む)や集落の課題・資源を皆さんで確認し、集落の現状を共有しました。

今後、12月中旬に「集落の将来について考えてみよう」をテーマとする第2回目の開催を予定しています。

※他出者：出身地(集落)外に世帯を持つ者。

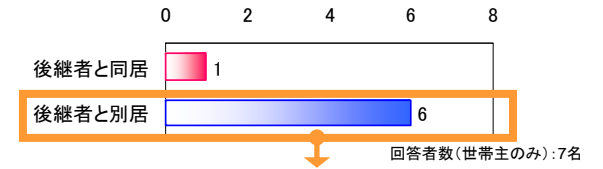
【集落元気づくりの取り組みイメージ】

- 元気⇒集落に居住する人々が地域にある資源を活かして、地域外の人々と交流するなど、集落が元気元気になるための取組
- 安心⇒地域外との連携や支援も受けつつ、住み続けていく上での不安を解消するための取組



世帯アンケートから見た知之浦集落の現状

- (1) アンケートの配布・回収について
- ・ 居住者アンケートは直接聞き取りにより、配布数15、回収数12、回収率80%です。
 - ・ 他出者アンケートは郵送により、配布数9に対し、回収数6、回収率67%です。



- (2) 後継者の状況 (図1)
- ・ 「後継者との同居」は1世帯、「町内に別居」が4世帯、「町外に別居」が2世帯です。
 - ・ 後継者の帰省状況は、「年3~4回以上」が3世帯、「盆・正月」が3世帯です。
 - ・ 後継者の連絡頻度は、「年数回程度」が1世帯、「月1回程度」が2世帯、「週1回程度」が2世帯です。



図1 後継者の状況 回答者数(世帯主のみ):6名

- (3) 他出者の家業手伝い状況・帰郷意欲について
- ・ 後継者の家業の手伝いの状況は、「手伝い有り」が4世帯、「無し」が2世帯です。
 - ・ 居住者が把握している後継者の定年後の集落に戻る予定は、「戻る予定」が1世帯、「わからない」が5世帯です。

表1 居住を継続する上での不安

| 住民の不安上位3位 | | 他出者の不安上位3位 | |
|-----------|----|------------|----|
| 近くに働く場がない | 6名 | 災害の危険性が高い | 3名 |
| 医療施設が遠い | 5名 | 近くに働く場がない | 2名 |
| 災害の危険性が高い | 3名 | 災害による孤立 | 2名 |

回答者数:12名 回答者数:6名

- (4) 集落への居住について
- ・ 今後の集落への居住継続意向は、「今後とも住み続けたい」(10名)が最も多くなっています。

- (5) 他出者の帰郷意向について
- ・ 他出者の帰郷意向は、他出者自身は「帰郷する」(3名)が最も多くなっています。
 - ・ 他出者の配偶者は、「わからない」(3名)が最も多くなっています。
 - ・ 他出者の子ども世代は、「わからない」(7名)が最も多くなっています。

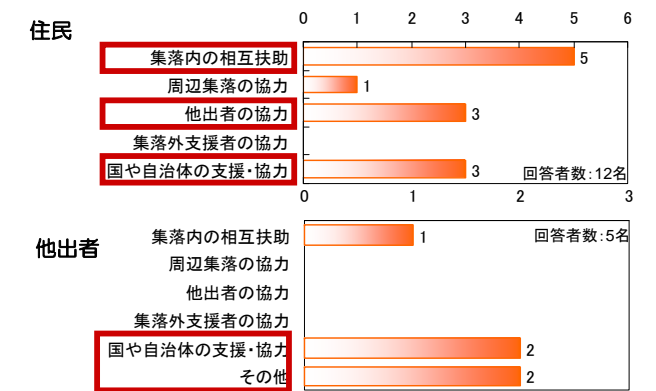


図2 今後居住を継続する上で必要なもの

- (6) 居住を継続する上での不安 (表1)
- ・ 住民の不安上位項目は、「近くの働く場の減少」(6名)です。
 - ・ 他出者の不安上位項目は、「災害の危険性の高い場所」(3名)です

- (7) 今後居住を継続する上で必要なもの(図2)
- ・ 住民は「集落内の相互扶助」が最も多くなっています。
 - ・ 他出者は、「国や自治体の支援・協力」、「その他」が「とても必要・必要」との回答合計が最も多くなっています。

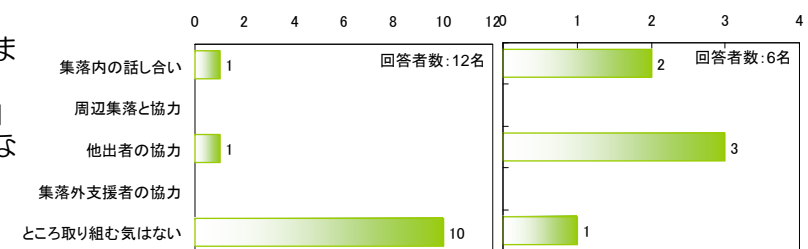


図3 集落元気づくりへの取組意向について

- (8) 集落元気づくりへの取組意向について (図3)
- ・ 住民の集落元気づくりへの取組意向は、「今のところ取り組む気はない」(10名)が最も多くなっています。
 - ・ 他出者の集落元気づくりへの取組意向は、「他出者と協力して取り組みたい」(3名)が最も多くなっています。

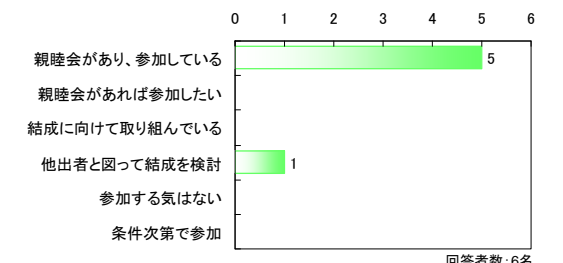
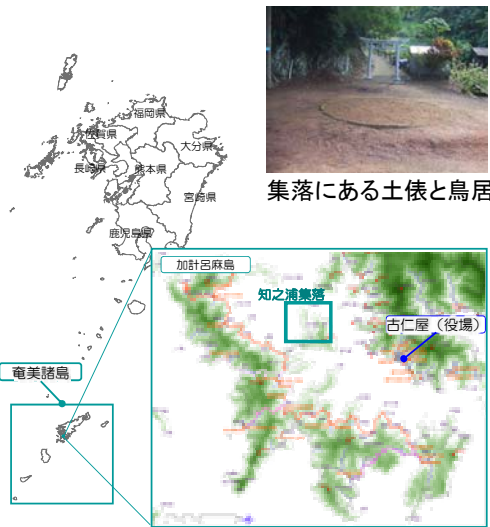


図4 親睦会について

- (9) 親睦会について (図4)
- ・ 出身集落や近隣集落の出身者で構成される親睦会は、「親睦会があり、既に参加している」(5名)が最も多くなっています。

予備調査による知之浦集落の現状



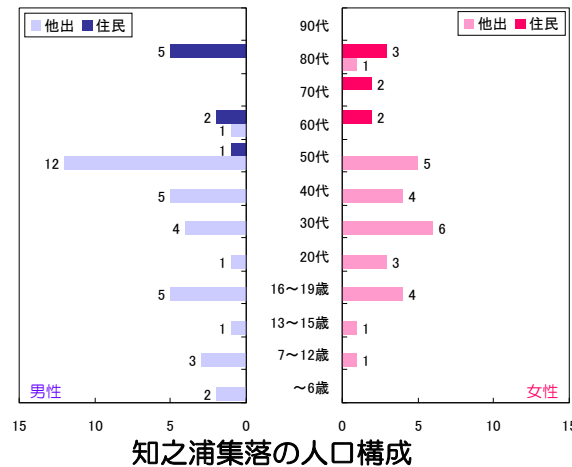
集落の位置：奄美諸島にある鹿児島県大島郡瀬戸内町の加計呂麻島の半島に位置し、加計呂麻島と奄美大島間にある大島海峡に面する集落。町制施行前の知之浦は瀬武の小字。
集落の特徴：伝統的な生業は半農半漁であり、以前は段々畑によるサトウキビによる黒糖づくりが盛んに行われていた。現在、集落の2/3が高齢者である。



知之浦集落の人口・世帯数

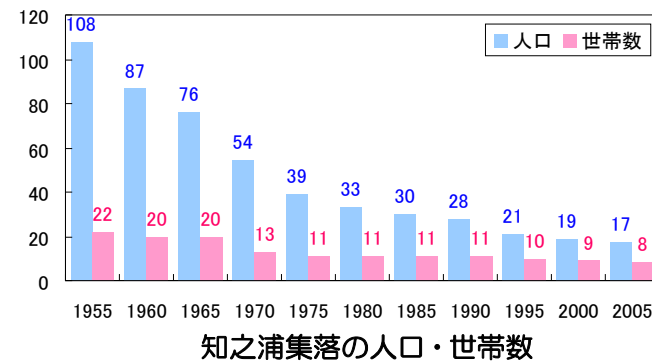
～後継者世代が他出、80歳代居住者が最も多い～

集落の人口構成、集落外に住まわれている集落血縁者（他出者）の状況を把握するために、アンケートにより人口と世帯数を調査し、その結果判明した内容を右に整理しました。



人口アンケートからみた知之浦集落

- 昭和30年には世帯数22世帯、人口108人であったが、昭和50年には世帯数11世帯、人口39人となり、現在は世帯数6世帯、人口15人となっています。
- 他出者を含めた集落人口は74名です。
- 80代の方が一番多くなっています。



集落現況マップ(不安と資源)からみた知之浦集落の現状



皆さんが多く感じた知之浦集落の不安

- 高齢で集落維持管理作業が難しくなってきた
- 道路の寸断より海が荒れる方が心配（移動は船に依存）
- 耕作放棄地が増えるとハブが出てくる

皆さんが誇る知之浦集落の資源

- 集落中心にある松の大木
- 全世帯船所有

皆さんの知之浦集落の思い出

- 瀬戸内町の船こぎレースは毎年上位入賞していた（H18年まで）
- 鰹一本釣りのキビナゴの地引網漁（ハチダアミ）
- 昔は通学に片道2時間かかっていた

寄合いを通して新たな知之浦集落の魅力を発見

寄合いに参加された皆さんの感想と、今後集落元気づくりとして取り組んでみたいことを紹介いたします。

代表的な感想

- 皆で集落について話すことが出来て楽しかった。（70代女性）
- 人々の意見を聞きながら、それに対して具体的に話を進めていたのが良かったと思います。（三浦集落男性）
- 第三者の方が入って、自分達の集落についての話し合いだったが、普段気付かなかった事等を色々聞くことが出来て良かったと思う。（他出者男性）
- 集落の高齢化による共同作業が出来にくい状況にあることが良く分かった。（60代男性）
- 集落の作業を古仁屋の郷友会と一緒にやれるのではないかと思った。集落の要請が今はないので、話し合いをしていきたい。要請があれば作業を手伝いたい。（他出者男性）
- 昔が思い出されて楽しかった。回数を増やせたら良い。（60代男性）



寄合いでの和気あいあいとした話し合い

今後集落元気づくりとして取り組んでみたいこと

- 豊年祭・敬老会**
…住民・他出の人同士の話し合う機会を増やすため、年1回の行事として行いたい。
- 三浦・知之浦寄合行事**
…三浦では旧正月のモチツキ大会、イノシシ鍋など、皆で行っている行事があり、合同で一緒にやれたら良いと思います。
- 空家の活用**
…集落と一緒に行事や作業をしてくれる1ターン、Uターンの人を歓迎したい。空き家を利用したい。

鹿児島大学 山田先生の講評！

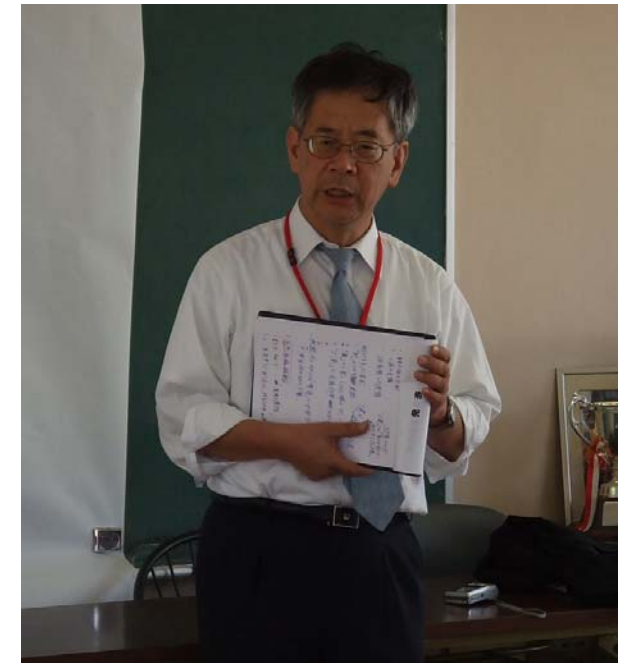
山田誠先生は鹿児島大学で、先進諸国の経済政策および地方財政の実証分析を研究され、近年は地域振興策やNGO活動についても業績を積み重ねられており、農山漁村コミュニティにおいても多くの研究実績をお持ちです。今回の寄合いにも企画段階から実施まで参加していただきました。

寄合い終了後、山田先生より次のような講評をいただきました。

「今回 3 集落の寄合いに参加していますが、沢山の人が集まったという点で阿多地集落は 3 集落の中で一番まわっていると思います。その理由は、集落外からは集落を客観的に見られるので、新しい視点から集落で楽しく暮らすための色々なアイデアのヒントを出してくれるからです。

また、集落を超えた活動が既に行われているようなので、今後は、率直な話し合い、譲り合い思いやる気持ちの醸成、皆で集まった時に使える資金の工面等が必要かと思えます。

次回は色々な取り組みを紹介しますので、前向きに取り組んで、知恵を働かせていってほしいと期待しています。」



寄合い終了後に講評される山田先生

次回開催のご案内

日時（予定）：平成21年12月12日（土）午前10時00分～午後12時00分
 場所：知之浦集会センターで開催予定

「テーマ：第2回集落の将来について考えてみよう」

～今後の集落の姿を考え、集落の問題・課題の抽出と今後の取組についての話し合い～

瀬戸内町阿多地集落 集落元気づくりだより

平成21年11月17日
第1号

集落元気づくりのための寄合いが開催される！

平成21年10月17日（土）に阿多地林業研修集会施設で、第1回集落元気づくりのための寄合いを開催しました。



集落元気づくりのための寄合いの様子

集落元気づくりのための寄合いは、国土交通省九州地方整備局が「自立した元気な九州圏土づくり」を目指し、小規模・高齢化集落の活力維持と向上に向けた取り組みとして、鹿児島県大島郡瀬戸内町阿多地集落で2回開催していきます。

この寄合いは集落の人々の暮らし・生活をいかに維持していくかに焦点を当てながら、元気を呼び戻すために、集落の人たちの力で、一緒に考え、話し合いながら「集落元気づくりの取り組み」を見いだしていくことを目的とします。

10月17日（土）の第1回の寄合いには、住民7名、他出者2名が参加し、「現状の問題を見てみよう」をテーマに、世帯毎の家族構成・後継者（他出された方を含む）や集落の課題・資源を皆さんで確認し、集落の現状を共有しました。

今後、12月中旬に「集落の将来について考えてみよう」をテーマとする第2回目の開催を予定しています。

※他出者：出身地（集落）外に世帯を持つ者。

【集落元気づくりの取り組みイメージ】

- 元気⇒集落に居住する人々が地域にある資源を活かして、地域外の人々と交流するなど、集落が元気になるための取組
- 安心⇒地域外との連携や支援も受けつつ、住み続けていく上での不安を解消するための取組



世帯アンケートから見た阿多地集落の現状

- (1) アンケートの配布・回収について
- ・ 居住者アンケートは直接聞き取りにより、配布数10、回収数5、回収率50.0%です。
 - ・ 他出者アンケートは郵送により、配布数7に対し、回収数5、回収率43%です。

- (2) 後継者の状況 (図1)
- ・ 「後継者との同居」は1世帯、「町外に別居」が3世帯です。
 - ・ 後継者の帰省状況は、「盆・正月」が3世帯です。
 - ・ 後継者の連絡頻度は、「月1回程度」が2世帯、「週1回程度」が1世帯です。

- (3) 他出者の家業手伝い状況・帰郷意欲について
- ・ 後継者の家業の手伝いの状況は、3世帯とも「手伝い無し」です。
 - ・ 居住者が把握している後継者の定年後の集落に戻る予定は「わからない」(3世帯)最も多くなっています。

- (4) 集落への居住について
- ・ 今後の集落への居住継続意向は、「今後とも住み続けたい」(3名)が最も多くなっています。

- (5) 他出者の帰郷意向について
- ・ 他出者の帰郷意向は、他出者自身は「出来れば帰郷する」(2名)が最も多くなっています。
 - ・ 他出者の配偶者は、「出来れば帰郷する」、「わからない」が各1名です。
 - ・ 他出者の子ども世代は、「わからない」(3名)が最も多くなっています。

- (6) 居住を継続する上での不安 (表1)
- ・ 住民の不安上位項目は、「医療施設が遠い」(3名)、「集落の孤立」(3名)です。
 - ・ 他出者の不安は、「医療・福祉・教育施設が遠い」、「近くの働く場の減少」、「災害時の不安」、「通信施設が無い」、「公共施設が無い」です

- (7) 今後居住を継続する上で必要なもの(図2)
- ・ 住民は「集落内の相互扶助」、「他出者の協力」(2名)が最も多くなっています。
 - ・ 住民の最も重要な項目は、「集落内の相互扶助」(2名)、「他出者の協力」(2名)、が最も多くなっています。

- (8) 集落元気づくりへの取組意向について (図3)
- ・ 住民の取組意向は、「集落内で話し合いをしたい」、「周辺集落と協力して取り組みたい」(各2名)が最も多くなっています。
 - ・ 他出者の取組意向は、「他出者と協力して取り組みたい」(3名)となっています。

- (9) 親睦会について (図4)
- ・ 出身集落や近隣集落の出身者で構成される親睦会は、「条件次第で参加したい」(2名)が最も多くなっています。

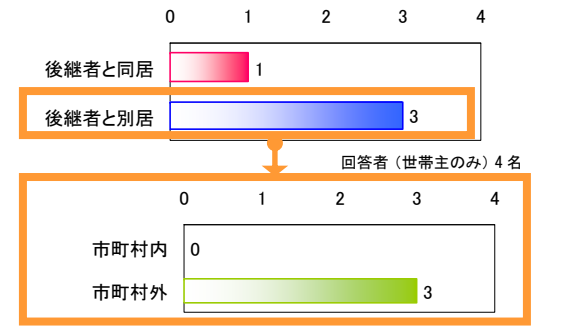


図1 後継者の状況

表1 居住を継続する上での不安

| 住民の不安上位3位 | |
|-----------|----|
| 医療施設が遠い | 3名 |
| 集落の孤立 | 3名 |
| 近くに働く場がない | 2名 |

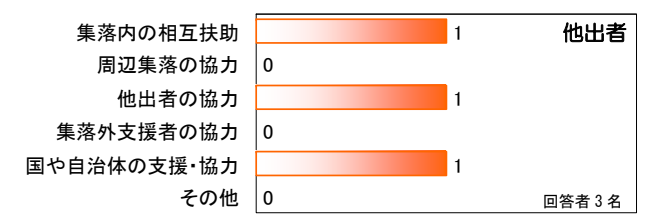
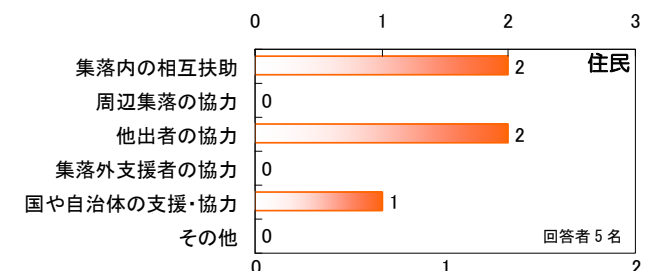


図2 今後居住を継続する上で必要なもの

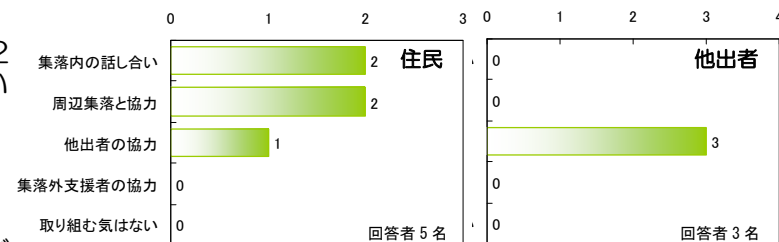


図3 集落元気づくりへの取組意向について

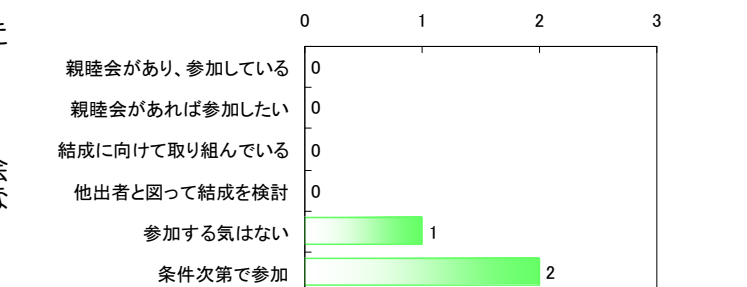


図4 親睦会について

予備調査による阿多地集落の現状



集落の位置：奄美諸島にある鹿児島県大島郡瀬戸内町の加計呂麻島の南西部の外海に位置する集落。フェリー乗船場である瀬相から車で概ね30分の距離にある。

集落の特徴：江戸時代の嘉永・安政時代頃に農耕地の開拓で開かれたと伝えられる集落。伝統的な生業は半農半漁であり、かつては鰹漁とサトウキビ中心の農業が盛んであった。現在、多くの世帯は年金受給が中心の暮らしとなっているが、1ターンの2世帯居住している。



集落の中心に伝統的な四阿「あしやげ」があり、集落の祭事に利用されている。

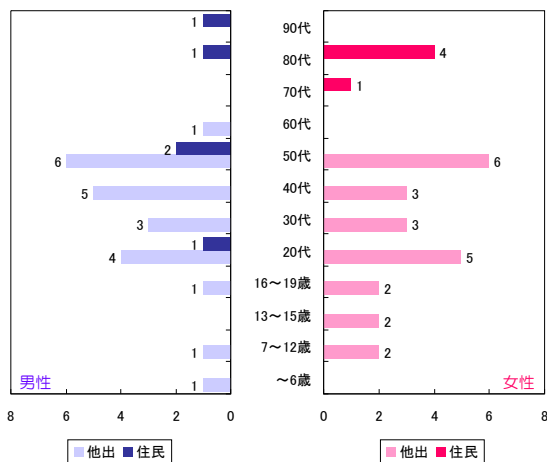


集落の中心と古仁屋へのフェリーが出航する瀬相を結ぶ路線バスが1日4本運行されている。

阿多地集落の人口・世帯数

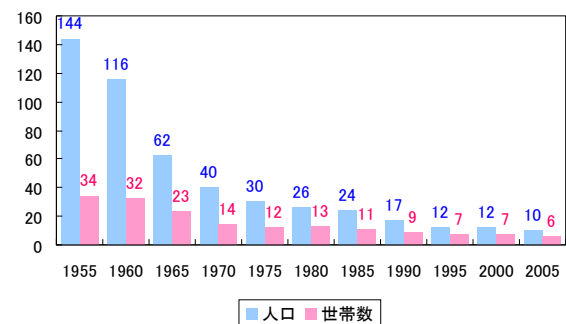
～後継者世代が他出、80歳代居住者が最も多い～

集落の人口構成、集落外に住まわれている集落血縁者（他出者）の状況を把握するために、アンケートにより人口と世帯数を調査し、その結果判明した内容を整理しました。



人口アンケートからみた阿多地集落

- 昭和30年には世帯数34世帯、人口144人であったが、昭和50年には世帯数12世帯、人口30人となり、現在は世帯数5世帯、人口10人、他出者を含めると55人となっています。
- 集落居住者は、80歳代の方が一番多くなっています。



集落現況マップ(不安と資源)からみた阿多地集落の現状



皆さんが多く感じた阿多地集落の不安

- 緊急時の電気が心配（倒木で電線が切断）
- ラジオが入らず、TVは共同アンテナ
- 土砂崩れが70年前に起き、複数箇所道が寸断
- 体調が悪くなった時、一人暮らしは不安

皆さんが誇る阿多地集落の資源

- 阿多地の海は魚貝類が豊富な一級地
- 集落の中心にある2本で1本のディゴの大樹
- 親戚を呼んでの豊年祭、ノ口神様を祀る祭事

皆さんの阿多地集落の思い出

- キビナゴの地引網漁（昭和35年までやっていた）
- 結い（サトウキビ・サツマイモ・萱の葎き替え）
- 旧暦3月31日大干潮での集落全員参加の潮干狩

寄合いを通して新たな阿多地集落の魅力を発見

寄合いに参加された皆さんの感想と、今後集落元気づくりとして取り組んでみたいことを紹介いたします。

代表的な感想

- 当集落がこれからどう進んでいくのか、何を守っていけば良いのか、ある程度見えてきたように思います。（50代男性）
- 普段聞けなかった集落の人の意見や、自分の知らない昔の出来事が確認され、集落の人の気持ちが良く見えた気がします。（50代男性）
- 集落づくりのためには、こういった会が多く開かれ、色々な話し合いが出来れば良いと思います。（80代男性）
- 空き家の情報、耕作放棄地の情報の収集をしてほしい。それを利用するための手立てをどうしたらよいか考えていきたいと思う。（30代男性）
- 今迄気がつかない事を気付き、寄合いに参加して良かったです。（80代女性）



寄合いでの熱心な討議

今後集落元気づくりとして取り組んでみたいこと

- 1ターンによる集落活性化
 - …空き家を利用した1ターン者を受け入れて、集落を活性化する。
- 集落づくりの会
 - …人との交流を盛んにするためにこのような話し合いをもっと多く開催する。
 - …みんなと会う日を多くしたい。
- 三月三日（浜下り）祭、万吉丸100年祭
 - …出身者の顔を見て、顔を合わせて、心から幸せになれるように、郷友会、出身者との交流のための祭を開催したい。



万吉丸の石碑
明治44年9月9日に遭難した集落住民のための石碑。
今年には遭難事故から100年目にあたる年。

鹿児島大学 山田先生の講評！

山田誠先生は鹿児島大学で、先進諸国の経済政策および地方財政の実証分析を研究され、近年は地域振興策やNGO活動についても業績を積み重ねられており、農山漁村コミュニティにおいても多くの研究実績をお持ちです。今回の寄合いにも企画段階から実施まで参加していただきました。

寄合い終了後、山田先生より次のような講評をいただきました。

「一昨年来島した時に比べ、家が手入れされていたり新築されていたりして、集落に活気が出てきたのではないかと印象を受けました。

今年から始まった川の草払いの後のバーベキューで、子供からお年寄りまで楽しく過ごされたようなので、今後もそのような機会が増えれば良いのにと強く感じました。

お年寄りが増えても楽しく生活していくためには、他出者や近隣集落の人と一緒に盛り上がる集まりが大事なので、ここで始まったバーベキューのような新たな取り組みを他の集落へも知らせていけたら良いと思います。」



寄合い終了後に講評される山田先生

次回開催のご案内

- 日時（予定）：平成21年12月13日（日）午前10時00分～午後12時00分
- 場所：阿多地林業研修集会施設で開催予定

「テーマ：第2回集落の将来について考えてみよう」

～今後の集落の姿を考え、集落の問題・課題の抽出と今後の取組についての話し合い～